

経験が自家用電気工作物(契約電力500kW以上の需要設備の電気工事)の記載例

実務経験証明書

ふりがな	けんちょう じろう	生年月日	昭和40年 1月 1日
氏名	県庁 次郎		
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇奈良市〇〇町1-2-4 (TEL)		
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	株式会社奈良県庁 (TEL)	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇奈良市〇〇町1-2-3	
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
株式会社奈良県庁 第一工事部 電気工事課 主任	平成14年4月1日 ～ 平成20年3月31日	<p>第2種電気工事士免状 平成14年4月1日取得 認定電気工事従事者認定証 平成14年11月1日取得</p> <p>(電気系の資格があれば書いてください。)</p> <p>左記の期間、電気主任技術者の監督のもと、自家用電気工作物のうち、契約電力500kW以上の需要設備を対象に電気工事の作業に従事した。</p> <p>主として、以下の工事の作業に従事した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※3～4項目以上記載 ・ ・ ・ <p>500kW以上であることを必ず確認してください。</p> <p>主な現場は、次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aビル 受電電圧6,600V、契約電力600kW (従事期間平成14年8月1日～平成14年12月1日) ・ Bホテル 受電電圧6,600V、契約電力700kW (従事期間平成17年7月1日～平成18年3月1日) ・ Cビル 受電電圧6,600V、契約電力800kW (従事期間平成19年8月1日～平成20年2月1日) <p>総工事件数〇〇〇件</p>	
	代表的な工事を3件以上書いてください。受電電圧、契約電力、従事期間の記載は必須です。 (時期が偏らないように書いてください。)		
通算期間	6年0月	5年以上であることを確認(一定の要件を満たす場合のみ3年以上)	
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。</p> <p>平成20年4月1日</p> <p>所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇 奈良市〇〇町1-2-3</p> <p>法人名(法人以外の場合にあっては事業所名) 株式会社奈良県庁</p> <p>代表者氏名(法人以外の場合にあっては任命権者等の氏名) 代表取締役社長 県庁 太郎</p> <p>電気工事業者</p> <p>登録または届出番号 奈良 都道府県 登録・届出 第 号</p>			

証明日は、「期間」の終了日以降であること

※3～4項目以上記載

500kW以上であることを必ず確認してください。

勤務先が株式会社や有限会社の場合は、代表取締役印を、個人商店の場合は、代表者の認め印を押印(シャチハタ不可)

自家用電気工作物(契約電力500kW以上の需要設備の電気工事)での経験証明の場合は不要

委任状が提出されていない限り、必ず証明者は、社長

※経験が2社(者)以上にまたがる場合は、それぞれの証明が必要となります。